

2024_0224「浅間山に沈む満月（写真）」日々の理科 3488号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今日（2024年2月24日）の早朝、私は珍しく群馬県藤岡市郊外にいました。高架橋から、浅間山に沈みかけている満月が見えたので、急いで開けた場所を探しました。満月の視直径は約0.5度、月は1分で約0.25度動くので、「沈み始めて」から「沈み終わる」まで、わずか2分しかありません。従って場所探しは大慌てでした。

手前の風景はあまりよくなかったのですが、もう半分ぐらい沈んでいたのもので、安全な場所に車を停めて撮影しました。車の外に出て三脚を立てる時間はなかったため、エンジンを停めて、窓枠にカメラを置いて撮影しました。

今日は満月です。正確には21:30に「満月の瞬間（月相14.00）」になります。「満月の瞬間を含む日」が「満月の日」ですが、実質的には今夜が満月と言えるでしょう。地球と月の距離は刻々と変化していて、一番近い時は36万km以下になりますが、今回の満月は地球からの距離が40万kmを超えていて、その分月は小さく見えます。今夜は、一年で一番小さく見える満月「マイクロ・ムーン」です。

（2024年2月下旬／群馬県藤岡市郊外）

